



29. 11. 9  
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト01）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（フォレストライト01）を実施しますので、お知らせいたします。

#### 1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、連携強化及び戦術技量の向上を図る。

#### 2 期間

平成29年12月8日（金）～20日（水）（13日間）

#### 3 場所

大矢野原演習場、高遊原分屯地等

#### 4 担任官

##### (1) 陸上自衛隊

第8師団長 陸将 よしだ 吉田 よしひで 圭秀

##### (2) 米海兵隊

第3海兵師団長 少将 クレッグ Q. ティンバーレーク (Craig Q. Timberlake)

#### 5 訓練実施部隊

##### (1) 陸上自衛隊

第8師団 第43普通科連隊基幹（約350名）

##### (2) 米海兵隊

第3海兵師団 第4海兵連隊 第2-1大隊基幹（約400名）  
（MV-22オスプレイ最大4機の参加を予定）

#### 6 備考

本訓練は、平成28年9月1日付けの日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在、普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイの訓練移転を組み込んで実施します。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 井上、吉水（担当）

(03-3268-3111 内線40084)